

社会福祉学研究と学会活動  
～私たちのアカデミズムを考える～

社会福祉学に限らず、研究活動を進めるためには、「学会」に参加することが求められます。今日では、社会福祉分野に限っても数多くの学会があります。大学院生の方や最近研究活動をスタートされた方の中には、自分はどの学会に入ろうかとお考え中の方もおられるかもしれません。

あらためて、「学会」とは何なのでしょう。社会福祉学に携わる私たちにとって学会活動に参加することは、どのような意味や意義があるのでしょうか。そしてこのことは、「学問とは何か」「研究とは何か」への問いにもつながります。

今回の第58回となる若手研究者・院生情報交換会は、「社会福祉学研究と学会活動」をテーマに開催します。参加者それぞれの立場や経験、研究テーマを越えて、私たちにとって学会活動に参加することの大切さ、そして、私たちが守りたい「アカデミズム」、さらにはこれからの社会福祉学研究のあり方について、皆さんとともに考えて、語り合い、分かち合いたいと思います。

当日のプログラムは下記の通りです。第1部は、学会理事経験者からの発題と指定発言者とのやりとりを中心に、続く第2部は、参加者のみなさん同士の交流や意見交換を中心に進めていく予定です。

終了後は、皆さんとの楽しい交流の機会をということで、付近の会場での懇親会も予定しています。どうかお気軽にご参加下さい。社会福祉学研究のこれからを担う、若手研究者や大学院生の皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

記

日時 2025年2月24日(月) 13:30~17:00

場所 同志社大学今出川キャンパス 寒梅館地下会議室

\*市営地下鉄京都線今出川駅下車 北2番出口から北へ徒歩1分

第1部(13:30~15:00)ミニ・シンポジウム

「社会福祉学研究と学会活動～私たちのアカデミズムを考える～」

発題1 「『学問』としての社会福祉学を研究すること」 空閑 浩人(同志社大学)

発題2 「『理事』として学会に参画することの意味と発見」 伊藤嘉余子(大阪公立大学)

指定発言者:小野セレストア摩耶(同志社大学)

姜 民護(同志社大学)

村田 隆史(京都府立大学)

(全体司会・進行:伊藤嘉余子)

第2部(15:15~17:00)意見交換・質疑応答・クロストーク

懇親会(17:30頃~)会場付近のお店で予定しています。

会費は5000円、院生の方は2000円程度の予定です。

参加希望者は、懇親会の参加の有無も含めて、下記までメールでお申し込みください。会場予約や資料作成等準備の都合上、2025年2月10日(月)までにご連絡いただくと幸いです。よろしくお祈りします。

【参加申込み・問い合わせ先】

企画担当:同志社大学 廣野俊輔 E-mail:[shirono@mail.doshisha.ac.jp](mailto:shirono@mail.doshisha.ac.jp)

